

年度別・再入院率

分類	施設名	H14再入院率	H15再入院率	H16再入院率	H17再入院率
平成16年度調査協力病院	旭川赤十字病院			24.9%	23.4%
平成16年度調査協力病院	医療法人孝仁会釧路脳神経外科病院				3.9%
平成16年度調査協力病院	総合病院北見赤十字病院			6.9%	7.2%
平成16年度調査協力病院	岩手県立中央病院				9.6%
平成16年度調査協力病院	岩手医科大学附属循環器医療センター				4.2%
平成16年度調査協力病院	財団法人宮城厚生協会 坂総合病院				7.5%
平成16年度調査協力病院	みやぎ県南中核病院				8.2%
平成16年度調査協力病院	仙台市立病院				6.3%
平成16年度調査協力病院	医療法人青嵐会 本荘第一病院				7.3%
平成16年度調査協力病院	公立藤田総合病院				6.6%
平成16年度調査協力病院	財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院			10.8%	11.3%
平成16年度調査協力病院	株式会社日立製作所 水戸総合病院				7.6%
平成16年度調査協力病院	足利赤十字病院			10.1%	13.3%
平成16年度調査協力病院	済生会宇都宮病院			1.0%	8.4%
平成16年度調査協力病院	前橋赤十字病院			7.8%	9.2%
平成16年度調査協力病院	財団法人脳血管研究所 美原記念病院			9.2%	6.5%
平成16年度調査協力病院	伊勢崎市民病院			4.5%	16.1%
平成16年度調査協力病院	富岡地域医療事務組合 公立富岡総合病院			7.6%	8.1%
平成16年度調査協力病院	社会福祉法人恩賜財団埼玉県済生会川口総合病院			2.5%	9.4%
平成16年度調査協力病院	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院				4.7%
平成16年度調査協力病院	医療法人財団 石心会 狭山病院				6.9%
平成16年度調査協力病院	医療法人 社幸会 行田総合病院			4.4%	6.7%
平成16年度調査協力病院	医療法人社団木下会 千葉西総合病院				7.5%
平成16年度調査協力病院	財団法人聖路加国際病院				9.7%
平成16年度調査協力病院	日本赤十字社医療センター			11.9%	12.2%
平成16年度調査協力病院	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院			7.6%	8.1%
平成16年度調査協力病院	財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院			5.7%	7.0%
平成16年度調査協力病院	医療法人財団岩井医療財団 岩井整形外科内科病院			3.9%	3.9%
平成16年度調査協力病院	青梅市立総合病院				9.4%
平成16年度調査協力病院	武蔵野赤十字病院			7.7%	8.9%
平成16年度調査協力病院	特定医療法人財団大和会 東大和病院			10.6%	11.9%
平成16年度調査協力病院	医療法人 五星会 菊名記念病院			5.3%	7.6%
平成16年度調査協力病院	医療法人社団 愛心会 湘南鎌倉総合病院				11.3%
平成16年度調査協力病院	JA神奈川県厚生連 相模原協同病院			2.6%	7.6%
平成16年度調査協力病院	JA神奈川県厚生連 伊勢原協同病院				9.3%
平成16年度調査協力病院	医療法人社団ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院				13.8%
平成16年度調査協力病院	特定医療法人財団 石心会 川崎幸病院				7.5%
平成16年度調査協力病院	済生会新潟第二病院				11.6%
平成16年度調査協力病院	社会保険高岡病院			6.2%	6.9%
平成16年度調査協力病院	特別医療法人財団葦仙会 恵寿総合病院			7.3%	6.2%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構甲府病院				4.6%
平成16年度調査協力病院	特定医療法人 慈泉会 相澤病院			7.5%	7.8%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構長野野病院				8.1%
平成16年度調査協力病院	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院				6.0%
平成16年度調査協力病院	医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院			9.4%	9.3%
平成16年度調査協力病院	総合病院 高山赤十字病院				6.8%
平成16年度調査協力病院	社会福祉法人 聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院			13.5%	14.8%
平成16年度調査協力病院	医療法人 偕行会 名古屋共立病院				11.7%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人労働者健康福祉機構 中部労災病院				12.6%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター				13.3%
平成16年度調査協力病院	四日市社会保険病院			7.1%	10.6%
平成16年度調査協力病院	三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院				8.1%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター				8.0%
平成16年度調査協力病院	大津赤十字病院				11.1%
平成16年度調査協力病院	滋賀県立成人病センター				9.8%
平成16年度調査協力病院	医療法人財団 康生会武田病院				10.5%
平成16年度調査協力病院	京都第一赤十字病院				13.7%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人 国立病院機構京都医療センター			16.0%	15.5%
平成16年度調査協力病院	特定医療法人 同仁会 耳原総合病院			4.0%	8.3%
平成16年度調査協力病院	特別・特定医療法人 生長会ベルランド総合病院			4.2%	7.4%
平成16年度調査協力病院	医療法人 ベガス 馬場記念病院			4.7%	4.2%
平成16年度調査協力病院	特別・特定医療法人 生長会 府中病院			4.7%	7.4%
平成16年度調査協力病院	特別・特定医療法人 愛仁会 高槻病院			6.9%	10.5%
平成16年度調査協力病院	特別・特定医療法人 愛仁会 千船病院			4.6%	7.3%
平成16年度調査協力病院	財団法人 大阪府警察協会 大阪警察病院			7.6%	10.3%
平成16年度調査協力病院	医療法人 美彩会 佐藤病院				6.9%
平成16年度調査協力病院	淀川キリスト教病院			8.2%	9.3%
平成16年度調査協力病院	財団法人 住友病院			3.2%	9.6%
平成16年度調査協力病院	財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院			6.5%	8.4%
平成16年度調査協力病院	医療法人 財団阪南医療福祉センター 阪南中央病院				8.5%
平成16年度調査協力病院	医療法人 宝生会 PL病院			1.7%	7.3%
平成16年度調査協力病院	恩賜財団社会福祉法人 大阪府済生会 富田林病院			1.5%	7.1%
平成16年度調査協力病院	特定医療法人 徳洲会 八尾徳洲会総合病院			7.3%	9.6%
平成16年度調査協力病院	大阪厚生年金病院				9.5%
平成16年度調査協力病院	大阪府済生会 中津病院				7.4%
平成16年度調査協力病院	大阪府済生会 吹田病院			7.6%	11.8%
平成16年度調査協力病院	箕面市立病院			3.9%	9.1%
平成16年度調査協力病院	市立池田病院				9.6%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター				15.8%
平成16年度調査協力病院	社団法人明石市医師会立 明石医療センター				8.0%
平成16年度調査協力病院	神戸アドベントス病院			4.3%	7.7%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構姫路医療センター				20.9%
平成16年度調査協力病院	奈良社会保険病院			7.0%	8.5%
平成16年度調査協力病院	社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院				11.0%

年度別・再入院率

分類	施設名	H14再入院率	H15再入院率	H16再入院率	H17再入院率
平成16年度調査協力病院	特定医療法人 鴻仁会 岡山中央病院			7.2%	8.3%
平成16年度調査協力病院	広島県立広島病院				9.5%
平成16年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 広島記念病院				7.6%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構呉医療センター				18.9%
平成16年度調査協力病院	徳島県立中央病院				8.5%
平成16年度調査協力病院	徳島赤十字病院			9.4%	11.7%
平成16年度調査協力病院	医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院			1.9%	8.4%
平成16年度調査協力病院	高松赤十字病院			1.9%	6.5%
平成16年度調査協力病院	医療法人近森会 近森病院			6.4%	7.0%
平成16年度調査協力病院	医療法人 原三信病院			9.5%	9.1%
平成16年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院				14.9%
平成16年度調査協力病院	済生会福岡総合病院			8.2%	8.5%
平成16年度調査協力病院	公立学校共済組合 九州中央病院				16.5%
平成16年度調査協力病院	医療法人天神会 新古賀病院				5.9%
平成16年度調査協力病院	医療法人社団 新日鐵八幡記念病院			14.6%	14.1%
平成16年度調査協力病院	九州厚生年金病院				14.6%
平成16年度調査協力病院	医療法人財団 池友会 新行橋病院			1.1%	6.5%
平成16年度調査協力病院	医療法人祐愛会 織田病院				6.5%
平成16年度調査協力病院	佐賀県立病院好生館				11.4%
平成16年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター				6.8%
平成16年度調査協力病院	医療法人 白十字会 佐世保中央病院				7.8%
平成16年度調査協力病院	大村市立病院			8.2%	6.1%
平成16年度調査協力病院	佐世保市立総合病院				21.3%
平成16年度調査協力病院	熊本赤十字病院			6.7%	8.4%
平成16年度調査協力病院	熊本市立熊本市民病院				12.5%
平成16年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院			2.0%	8.6%
平成16年度調査協力病院	国保水俣市立総合医療センター			3.9%	7.1%
平成16年度調査協力病院	済生会熊本病院			8.4%	8.5%
平成16年度調査協力病院	医療法人敬和会 大分岡病院			7.1%	8.1%
平成16年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 新別府病院				9.2%
平成16年度調査協力病院	健康保険南海病院			13.0%	16.1%
平成16年度調査協力病院	社団法人鹿児島共済会 南風病院			10.3%	25.9%
平成16年度調査協力病院	財団法人 慈愛会 今村病院分院			3.3%	9.4%
平成16年度調査協力病院	財団法人 慈愛会 今村病院			11.9%	15.1%
平成16年度調査協力病院	川内市医師会立市民病院				6.6%
平成16年度調査協力病院	特定医療法人仁愛会 浦添総合病院			9.2%	9.5%
平成16年度調査協力病院	医療法人友愛会 豊見城中央病院			9.3%	8.2%
平成16年度調査協力病院	医療法人かりゆし会 ハートライフ病院			9.6%	10.8%
平成16年度調査協力病院	平成16年度調査協力病院1				10.8%
平成16年度調査協力病院	平成16年度調査協力病院2				8.3%
平成16年度調査協力病院	平成16年度調査協力病院3			6.8%	7.4%

年度別・再入院率

分類	施設名	H14再入院率	H15再入院率	H16再入院率	H17再入院率
平成17年度調査協力病院	医療法人医仁会 中村記念病院				3.8%
平成17年度調査協力病院	北海道勤労者医療協会 中央病院				14.8%
平成17年度調査協力病院	市立旭川病院				18.1%
平成17年度調査協力病院	盛岡赤十字病院				11.3%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院				9.3%
平成17年度調査協力病院	社会福祉法人恩賜財団済生会 山形済生病院				8.4%
平成17年度調査協力病院	財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院				11.0%
平成17年度調査協力病院	総合病院取手協同病院				7.9%
平成17年度調査協力病院	富士重工業健康保険組合 総合太田病院				9.8%
平成17年度調査協力病院	館林厚生病院				9.1%
平成17年度調査協力病院	自治医科大学附属大宮医療センター				5.3%
平成17年度調査協力病院	獨協医科大学越谷病院				8.0%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人 労働者健康福祉機構 千葉労災病院				10.9%
平成17年度調査協力病院	順天堂大学浦安病院				8.8%
平成17年度調査協力病院	医療法人社団 圭春会 小張総合病院				7.0%
平成17年度調査協力病院	日本医科大学千葉北総病院				8.2%
平成17年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 東京共済病院				12.7%
平成17年度調査協力病院	東京都立豊島病院				14.5%
平成17年度調査協力病院	社会福祉法人 仁生社 江戸川病院				6.4%
平成17年度調査協力病院	公立昭和三井病院				7.7%
平成17年度調査協力病院	公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター				10.1%
平成17年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院				11.6%
平成17年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院				9.9%
平成17年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院				9.1%
平成17年度調査協力病院	社会保険相模野病院				7.1%
平成17年度調査協力病院	秦野赤十字病院				9.0%
平成17年度調査協力病院	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院				8.4%
平成17年度調査協力病院	昭和大学藤が丘病院				10.0%
平成17年度調査協力病院	昭和大学横浜市北部病院				8.8%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人 労働者健康福祉機構 関東労災病院				8.2%
平成17年度調査協力病院	帝京大学医学部附属溝口病院				4.6%
平成17年度調査協力病院	横浜市立みなと赤十字病院				10.2%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター				8.3%
平成17年度調査協力病院	新潟労災病院				7.2%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター				9.6%
平成17年度調査協力病院	長野赤十字病院				12.4%
平成17年度調査協力病院	長野市民病院				15.7%
平成17年度調査協力病院	諏訪赤十字病院				11.8%
平成17年度調査協力病院	静岡赤十字病院				10.3%
平成17年度調査協力病院	藤枝市立総合病院				11.6%
平成17年度調査協力病院	県西部浜松医療センター				11.0%
平成17年度調査協力病院	名古屋第一赤十字病院				11.3%
平成17年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 名城病院				9.4%
平成17年度調査協力病院	みなと医療生活協同組合 協立総合病院				10.0%
平成17年度調査協力病院	大同病院				9.2%
平成17年度調査協力病院	豊橋市民病院				8.2%
平成17年度調査協力病院	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院				6.9%
平成17年度調査協力病院	鈴鹿回生病院				8.8%
平成17年度調査協力病院	市立伊勢総合病院				10.8%
平成17年度調査協力病院	社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院				13.1%
平成17年度調査協力病院	京都第二赤十字病院				10.3%
平成17年度調査協力病院	財団法人 日本生命済生会附属 日生病院				9.1%
平成17年度調査協力病院	特定医療法人きつこう会 総合病院 多根病院				7.5%
平成17年度調査協力病院	医療法人 医真会 医真会八尾総合病院				7.8%
平成17年度調査協力病院	大阪府立成人病センター				15.4%
平成17年度調査協力病院	市立堺病院				11.2%
平成17年度調査協力病院	医療法人社団 甲友会 西宮協立脳神経外科病院				5.6%
平成17年度調査協力病院	医療法人社団 清和会 世生病院				5.4%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人労働者健康福祉機構 関西労災病院				8.5%
平成17年度調査協力病院	総合病院 姫路聖マリア病院				7.0%
平成17年度調査協力病院	兵庫県立姫路循環器病センター				7.1%
平成17年度調査協力病院	姫路赤十字病院				18.6%
平成17年度調査協力病院	赤穂市民病院				9.7%
平成17年度調査協力病院	社会保険神戸中央病院				9.4%
平成17年度調査協力病院	神戸赤十字病院				8.7%
平成17年度調査協力病院	橋本市民病院				9.5%
平成17年度調査協力病院	岡山済生会総合病院				10.1%
平成17年度調査協力病院	総合病院岡山赤十字病院				7.2%
平成17年度調査協力病院	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院				12.2%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター				11.3%
平成17年度調査協力病院	労働者健康福祉機構 香川労災病院				6.7%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人 労働者健康福祉機構 愛媛労災病院				7.5%
平成17年度調査協力病院	高知赤十字病院				7.4%
平成17年度調査協力病院	福岡市民病院				9.5%
平成17年度調査協力病院	公立八女総合病院				6.9%
平成17年度調査協力病院	医療法人 社団高邦会 高木病院				5.6%
平成17年度調査協力病院	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター				16.9%
平成17年度調査協力病院	労働者健康福祉機構 長崎労災病院				6.2%
平成17年度調査協力病院	長崎市立市民病院				10.5%
平成17年度調査協力病院	日本赤十字社長崎原爆病院				9.1%
平成17年度調査協力病院	医療法人 聖医会 サザン・リージョン病院				8.5%
平成17年度調査協力病院	平成17年度調査協力病院1				16.0%
平成17年度調査協力病院	平成17年度調査協力病院2				7.8%

1-2. 調査結果

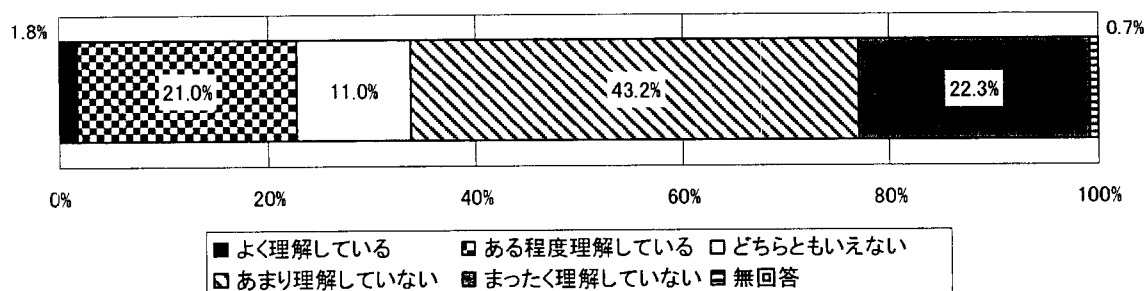
(1) DPCの診断群分類についての理解度

① 全体傾向

DPCの診断群分類については、「あまり理解していない」(43.2%)という回答割合が4割強を占める。「まったく理解していない」(22.3%)という回答割合も2割強あり、7割近くの職員がDPCの診断群分類について十分に理解していない。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「よく理解している」(6.0%)と「ある程度理解している」(47.3%)をあわせ、5割以上が理解していると回答しており、比較的高い理解度を示している。

一方で、看護師の場合は、「あまり理解していない」(48.3%)、「まったく理解していない」(27.3%)という回答で8割近くを占めており、DPCの診断群分類に対する理解度は低い。職制との関係では有意であり、医師と看護師の間でDPCの診断群分類に対しては理解度に大きな差がある。(分割表分析係数=0.3983、P値<0.01)



		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全体		29,173	513	6,129	3,216	12,605	6,494	216
		100.0%	1.8%	21.0%	11.0%	43.2%	22.3%	0.7%
職性別	医師	6,855	414	3,243	799	1,907	478	14
		100.0%	6.0%	47.3%	11.7%	27.8%	7.0%	0.2%
	看護師	21,600	87	2,756	2,340	10,439	5,902	76
	100.0%	0.4%	12.8%	10.8%	48.3%	27.3%	0.4%	
	無回答	718	12	130	77	259	114	126
	100.0%	1.7%	18.1%	10.7%	36.1%	15.9%	17.5%	

(8) DPC導入後の医療内容の変化

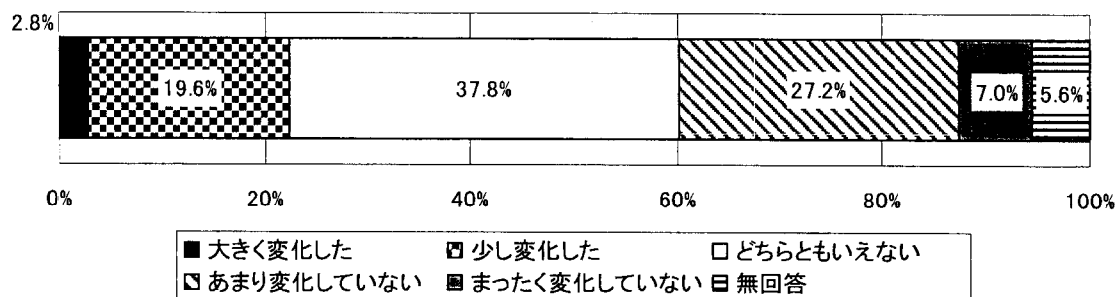
① 全体傾向

DPC 導入後の医療内容の変化については、「どちらとも言えない」という回答が 37.8% と最も多く、「あまり変化していない」(27.2%)、「少し変化した」(19.6%) の順に多い。

「大きく変化した」(2.8%)、「少し変化した」(19.6%) をあわせ約 2 割の職員が、DPC 導入による医療内容の変化を感じている。

医師と看護師を比較すると、医師の方が看護師と比べると「大きく変化した」、「少し変化した」という回答割合が高いのに対し、看護師は「どちらとも言えない」という回答割合が非常に高い。職制との関係は有意であり、医師と看護師の間で差が見られる。

(分割表分析係数=0.2479、P 値<0.01)



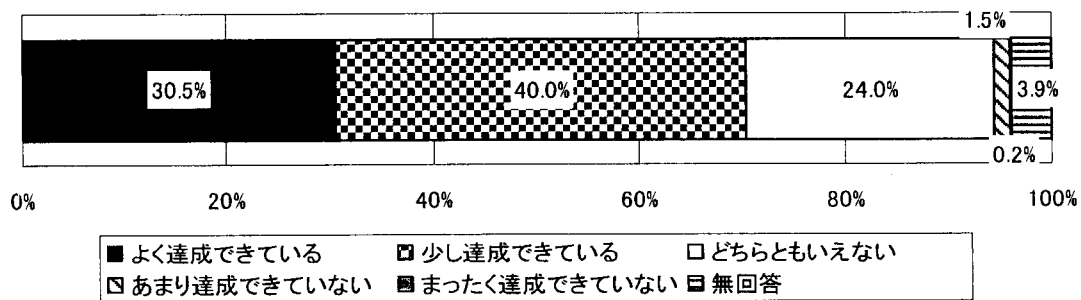
		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらともいえない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答
全体		29,173 100.0%	822 2.8%	5,710 19.6%	11,038 37.8%	7,930 27.2%	2,029 7.0%	1,644 5.6%
職性別	医師	6,855 100.0%	302 4.4%	1,845 26.9%	1,270 18.5%	2,343 34.2%	869 12.7%	226 3.3%
	看護師	21,600 100.0%	500 2.3%	3,755 17.4%	9,537 44.2%	5,444 25.2%	1,116 5.2%	1,248 5.8%
	無回答	718 100.0%	20 2.8%	110 15.3%	231 32.2%	143 19.9%	44 6.1%	170 23.7%

(14)退院に当たっての入院目的の達成状況

① 全体傾向

入院目的の達成については、「少し達成できている」という回答が40.0%と最も多く、次いで「よく達成できている」(30.5%)、「どちらとも言えない」(24.0%)の順に多い。7割以上の職員が達成できていると回答しており、高い評価となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よく達成できている」という回答が5割以上で、非常に高い評価となっており、職制との関係は有意である。(分割表分析係数=0.2731、P値<0.01)



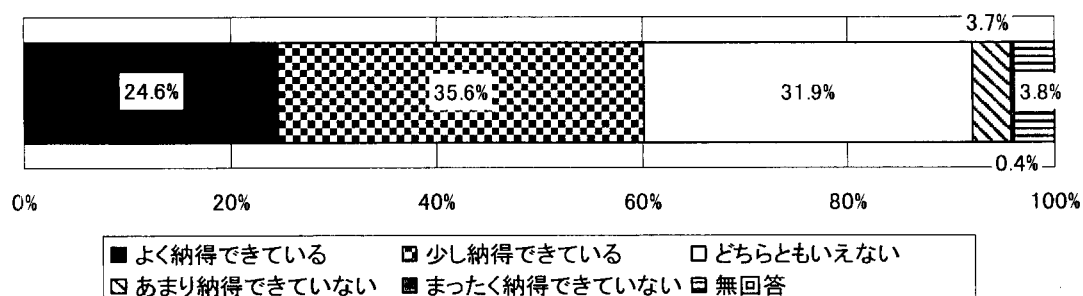
		サンプル数	よく達成できている	少し達成できている	どちらとも言えない	あまり達成できていない	まったく達成できていない	無回答
全体		29,173	8,893	11,655	6,988	447	55	1,135
		100.0%	30.5%	40.0%	24.0%	1.5%	0.2%	3.9%
職性別	医師	6,855	3,620	2,200	759	69	9	198
		100.0%	52.8%	32.1%	11.1%	1.0%	0.1%	2.9%
	看護師	21,600	5,130	9,209	6,090	360	45	766
	100.0%	23.8%	42.6%	28.2%	1.7%	0.2%	3.5%	
	無回答	718	143	246	139	18	1	171
		100.0%	19.9%	34.3%	19.4%	2.5%	0.1%	23.8%

(15)医療従事者としての退院に対する納得度

① 全体傾向

患者の退院については、「少し納得できている」という回答が 35.6%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」(31.9%)、「よく納得できている」(24.6%)の順に多い。約6割の職員は納得できている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よく納得できている」という回答割合が非常に高い。職制との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2770、P値<0.01)

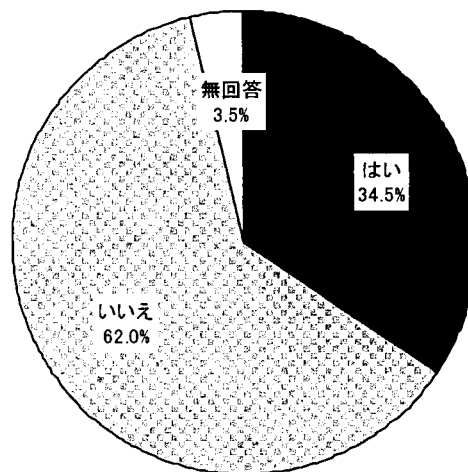


	サンプル数	よく納得できている	少し納得できている	どちらとも言えない	あまり納得できていない	まったく納得できていない	無回答	
全体	29,173 100.0%	7,178 24.6%	10,380 35.6%	9,316 31.9%	1,071 3.7%	110 0.4%	1,118 3.8%	
職性別	医師	6,855 100.0%	3,113 45.4%	2,178 31.8%	1,122 16.4%	220 3.2%	36 0.5%	186 2.7%
	看護師	21,600 100.0%	3,939 18.2%	7,990 37.0%	8,005 37.1%	827 3.8%	70 0.3%	769 3.6%
	無回答	718 100.0%	126 17.5%	212 29.5%	189 26.3%	24 3.3%	4 0.6%	163 22.7%

(3) 入院医療費の算定方法が変わったことの認知状況(DPC 病院・試行的適用病院の患者のみ回答)

① 全体傾向

入院医療費の算定方法が変わったことについては、「はい (知っていた)」という回答割合が 34.5%に対して、「いいえ (知らなかった)」という回答割合が 62.0%と高い。入院医療費の算定方法の変化については十分に認知されていないことがうかがわれる。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別で見ると、年齢が上がるほど「はい (知っていた)」という回答割合が高くなる傾向が見られる。

ウ. 種別

DPC の導入状況で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別で見ると、公的病院で「はい (知っていた)」という回答割合が低いが、その他については大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別で見ると、北海道で「はい (知っていた)」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

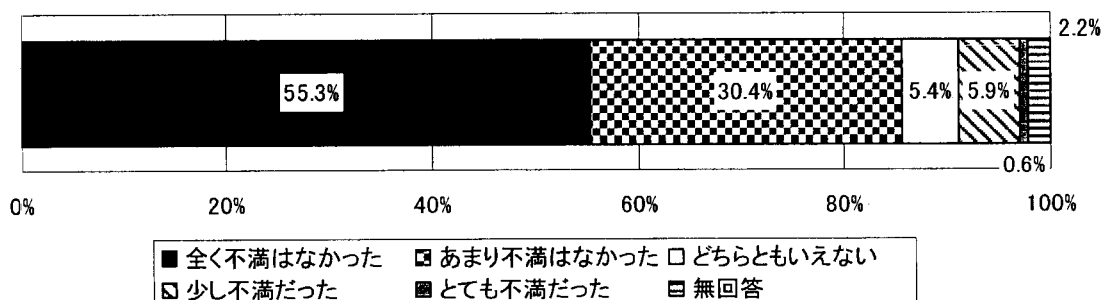
カ. 退院後の予定

退院後の予定との関連性を見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

(5) 入院中の療養生活に対する支援への満足度

① 全体傾向

入院中に療養生活に対する支援については、「まったく不満はなかった」という回答割合が55.3%と半数以上であり、「あまり不満はなかった」(30.4%)という回答をあわせると、9割近くの患者は療養生活に対する支援に満足していると回答しており、ここでも高い評価となっている。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、70歳代以上で「まったく不満はなかった」という回答割合が高いのに対し、10歳未満では「少し不満だった」という回答割合がやや高くなっているように、年代があがるほど満足度が高くなるという傾向が見られる。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院や社会保険病院で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、東北で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや低いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

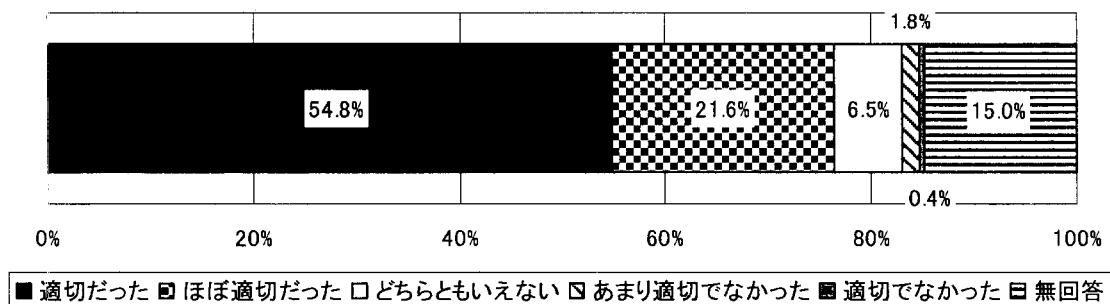
カ. 退院後の予定

退院後の予定との関連性をみると、自宅療養で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

(8) 退院の時期についての評価

① 全体傾向

退院の時期については、「適切だった」(54.8%)と「ほぼ適切だった」(21.6%)をあわせると、8割近くの患者が適切であると回答しており、高く評価している。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、20歳代、30歳代で「適切だった」という回答割合がやや高いのに対し、60歳代や80歳代以上の回答割合がやや低いが、これらの年代では無回答の割合が高くなっており、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院で「適切だった」という回答割合が高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、東北で「適切だった」という回答割合がやや低く、「ほぼ適切だった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

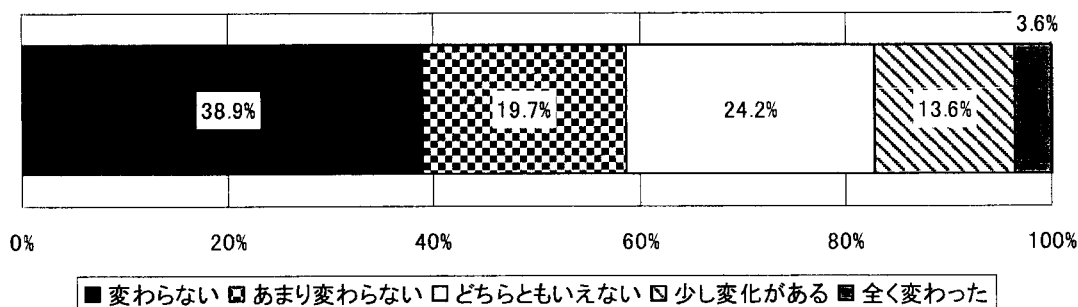
カ. 退院後の予定

退院後の予定との関連性をみると、他病院へ転院という患者で「適切だった」という回答割合が低く、「どちらとも言えない」、「あまり適切でなかった」という回答割合がやや高い。

(9) DPC導入後の医療内容や入院期間の変化（1年以上前に入院経験のある患者のみ回答）

① 全体傾向

DPC導入後の医療内容や入院期間については、「変わらない」という回答が38.9%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」（24.2%）、「あまり変わらない」（19.7%）の順となっており、8割以上の患者はDPC導入による医療内容等の変化を感じていない。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、70歳代、80歳代で「変わらない」という回答割合が高いのに対し、50歳代、60歳代で「少し変化がある」という回答割合が高く、年代との間に弱い相関が見られる。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、調査協力病院で「変わらない」、「少し変化がある」という回答割合が高いのに対し、DPC病院および試行的適用病院では「どちらとも言えない」という回答割合が高い。DPC病院および試行的適用病院と、調査協力病院の間での回答傾向に違いが見られ、DPCの導入状況と医療内容等の変化に対する認識の間には相関が見られる。

（分割表分析係数=0.2240、P値<0.01）

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「変わらない」、「少し変化がある」という回答割合が高く、国立病院では「少し変化がある」という回答割合が高くなっている。設置主体と医療内容等の変化に対する認識の間には弱い相関が見られる。

オ. 地域別

地域別でみると、関西で「変わらない」という回答割合がやや高く、東北、中国・